# 2021年度　事業報告書

（2021年４月１日から2022年３月31日まで）

学 校 法 人 敬 和 学 園

敬 和 学 園 大 学

敬 和 学 園 高 等 学 校

## Ⅰ. 法人の概要（2022 年 3 月 31 日現在）

### 1. 学校法人敬和学園

理事長　榎本　榮次

法　人　本　部　　新潟県新発田市富塚字三賀境 1270 番地

電話　0254-26-3636　　FAX　0254-26-3646

### 2. 設置学校及び所在地

敬 和 学 園 大 学　　新潟県新発田市富塚字三賀境 1270 番地

電話　0254-26-3636　　FAX　0254-26-3646

https://www.keiwa-c.ac.jp/

敬和学園高等学校　　新潟県新潟市北区太夫浜 325 番地

電話　025-259-2391　　FAX　025-259-7281

https://www.keiwa-h.jp

### 3. 敬和学園の設立目的

この法人は、教育基本法（昭和２２年法律第２５号）及び学校教育法（昭和２２年法律第２６号）に従い、福音主義のキリスト教精神に基づいて、敬虔な思いと真理による自由と愛とをもち、国際的現代社会に対する広い見識をもつ有為な人物を育成し、人類と福祉と文化の発展に寄与することを目的とする。

### 4. 設立の背景・沿革

新潟市開港 100 年記念の事業の一環として県市より土地が提供され、新潟県下の日本基督教団所属の教会をはじめ、内外にわたる教会の支援を受け 1968 年 4 月、日本基督教団立として敬和学園高校が創立されました。敬和学園の「敬」は神への畏敬を、「和」は隣人愛を基盤とする人の和、さらには地球的規模に拡大して平和を意味しています。

以来、故太田俊雄初代校長が礎を築き、ユニークな校風を生み出してきた敬和学園の教育理念は、1991 年 4 月、新発田市・聖籠町に創立された敬和学園大学の教育に引き継がれています。

| 敬　和　学　園　の　沿　革 | | |
|---|---|---|
| 1963 年 | 11 月 | 新潟キリスト教主義高等学校設立準備委員会発足 |
| 1966 年 | 7 月 | 日本基督教団第 9 回常議員会にて、新潟キリスト教主義高等学校設置を議決 |
| 1967 年 | 1 月 | 新潟キリスト教主義高等学校設立準備委員会にて、高等学校名を「敬和学園」と命名 |
| | 6 月 | 第 1 回理事会開催　初代理事長に北村徳太郎就任 |
| | 8 月 | 新潟県、新潟市より高等学校校地無償提供 |

| 敬　和　学　園　の　沿　革 | | |
|---|---|---|
| | 11月 | 寄附行為認可（敬和学園創立） |
| | 12月 | 法人登記完了 |
| 1968年 | 3月 | 敬和学園高等学校設置認可 |
| | 4月 | 敬和学園高等学校　初代校長に太田俊雄就任<br>敬和学園高等学校開校式、献堂式<br>敬和学園高等学校第1回入学式 |
| | 12月 | 敬和学園　2代目理事長に大村勇就任 |
| 1976年 | 10月 | 敬和学園　3代目理事長に武藤富男就任 |
| 1977年 | 11月 | 敬和学園高等学校創立10周年記念式典 |
| 1982年 | 4月 | 敬和学園　4代目理事長に高橋勝就任 |
| 1984年 | 4月 | 敬和学園高等学校　2代目校長にジョン・モス就任 |
| 1986年 | 10月 | 理事会・評議員会で敬和学園大学設立を議決 |
| 1987年 | 11月 | 敬和学園高等学校創立20周年記念式典 |
| 1989年 | 1月 | 敬和学園　5代目理事長に後宮俊夫就任 |
| 1990年 | 4月 | 敬和学園高等学校　3代目校長に榎本榮次就任 |
| | 12月 | 大学設置認可（人文学部　英語英米文学科、国際文化学科） |
| 1991年 | 4月 | 敬和学園大学　初代学長に北垣宗治就任<br>敬和学園大学第1回入学式<br>敬和学園大学開学式 |
| 1993年 | 4月 | 敬和学園大学人文学部英語英米文学科に教職課程（英語）設置 |
| 1997年 | 11月 | 敬和学園大学体育館新築・講義棟増築献堂式 |
| 1998年 | 1月 | 敬和学園高校チャペル完成・初礼拝 |
| | 6月 | 敬和学園高等学校創立30周年記念式典 |
| 2000年 | 9月 | 敬和学園大学人文社会科学研究所設置 |
| 2001年 | 4月 | 敬和学園大学創立10周年記念式典 |
| 2003年 | 4月 | 敬和学園大学　2代目学長に新井明就任<br>敬和学園高等学校　4代目校長に小西二巳夫就任<br>敬和学園大学 大学基準協会に正会員として加盟 |
| | 5月 | 敬和学園大学人文学部共生社会学科設置認可 |
| 2004年 | 4月 | 敬和学園大学人文学部に共生社会学科設置<br>敬和学園大学人文学部共生社会学科に社会福祉士国家試験受験資格課程を設置<br>敬和学園大学人文学部英語英米文学科を英語文化コミュニケーション学科に名称変更 |
| 2005年 | 4月 | 敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（公民）設置 |
| | 10月 | 敬和学園大学創立15周年記念セミナー |
| | 11月 | 敬和学園大学創立15周年記念講演会 |
| 2006年 | 4月 | 敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（社会）設置 |
| | 11月 | まちの駅よろず「新発田学研究センター」開設 |
| 2007年 | 1月 | 敬和学園高等学校　新ホール「友愛館」竣工 |
| | 11月 | 敬和学園高等学校創立40周年記念礼拝 |
| 2008年 | 3月 | 敬和学園大学　大学基準協会の大学評価により「適合」の認定を受ける |
| 2009年 | 4月 | 敬和学園大学　3代目学長に鈴木佳秀就任 |

| 敬　和　学　園　の　沿　革 | | |
|---|---|---|
| 2010年 | 3月 | 敬和学園大学ピロティ改修 |
| | 10月 | 敬和学園大学創立20周年記念式典 |
| | 12月 | 敬和学園大学アーチェリーレンジ竣工 |
| 2011年 | 4月 | 敬和学園　6代目理事長に大宮溥就任 |
| 2012年 | 4月 | 敬和学園大学人文学部国際文化学科に教職課程（地理歴史）設置 |
| 2015年 | 3月 | 敬和学園大学　大学基準協会の大学評価（第2期）により「適合」の認定を受ける |
| | 4月 | 敬和学園大学　英語文化コミュニケーション学科の定員を80人から60人に変更 |
| | 5月 | 敬和学園　7代目理事長に小西二巳夫就任 |
| | 6月 | 敬和学園大学　4代目学長に山田耕太就任 |
| 2016年 | 4月 | 敬和学園大学　学生寮開設 |
| 2017年 | 2月 | 敬和学園大学　ラーニングコモンズ開設 |
| | 9月 | 敬和学園法人・高校創立50周年、大学創立25周年記念式典 |
| | 10月 | 敬和学園創立50周年事業、宗教改革500周年記念講演＆オルガンコンサート |
| 2018年 | 4月 | 敬和学園　8代目理事長に榎本榮次就任<br>敬和学園高等学校　5代目校長に中塚詠子就任 |
| 2020年 | 10月 | 敬和学園大学創立30周年記念式典 |
| 2021年 | 4月 | 敬和学園高等学校　6代目校長に小田中肇就任 |
| 2022年 | 3月 | 敬和学園大学　大学基準協会の大学評価（第3期）により「適合」の認定を受ける |

## 5. 設置する学校の入学定員・収容定員・在学者数

（2021年5月1日現在　学校基本調査より）

| 学　校　名 | | | 入学定員 | 収容定員 | 在学者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 敬和学園大学 | 人文学部 | 英語文化コミュニケーション学科 | 60名 | 240名 | 225名 |
| | | 国際文化学科 | 80名 | 320名 | 406名 |
| | | 共生社会学科 | 40名 | 160名 | 130名 |
| | | 計 | 180名 | 720名 | 761名 |
| 敬和学園高等学校 | 全日制課程 | 普通科 | 200名 | 600名 | 523名 |

## 6. 役員・評議員・教職員の概要

（1）　役　員　　（2022年3月31日現在）

定数：理事　13名、監事　3名

| 区　分 | 氏　名 | 常　勤・<br>非常勤の別 | 就任年月日・主な現職 |
|---|---|---|---|
| 理　事　長<br>(7 号理事) | 榎本　　榮次 | 非常勤 | 2015 年 4 月 1 日就任<br>2018 年 4 月 1 日理事長就任 |
| 1 号理事 | 山田　　耕太 | 常　勤 | 2003 年 4 月 1 日就任<br>2015 年 5 月 28 日常務理事就任<br>敬和学園大学学長 |
| 2 号理事 | 小田中　　肇 | 常　勤 | 2018 年 4 月 1 日就任<br>2021 年 5 月 25 日常務理事就任<br>敬和学園高等学校校長 |
| 3 号理事 | 下田尾　治郎 | 常　勤 | 2015 年 6 月 1 日就任<br>敬和学園大学宗教部長 |
| 3 号理事 | 宇田川　　潔 | 非常勤 | 2001 年 4 月 1 日就任<br>2015 年 5 月 28 日副理事長・常務理事就任 |
| 3 号理事 | 金山　　愛子 | 常　勤 | 2021 年 4 月 1 日就任<br>敬和学園大学学長補佐 |
| 4 号理事 | 熊江　　秀一 | 非常勤 | 2017 年 4 月 1 日就任<br>日本基督教団大宮教会主任担任教師 |
| 4 号理事 | 片岡　　宝子 | 非常勤 | 2021 年 4 年 1 日就任<br>日本基督教団東中通教会主任担任教師 |
| 4 号理事 | 長倉　　望 | 非常勤 | 2013 年 4 月 1 日就任<br>日本基督教団新潟教会主任担任教師 |
| 5 号理事 | 横山　由美子 | 非常勤 | 2014 年 4 月 1 日就任<br>おらって市民エネルギー㈱取締役 |
| 6 号理事 | 近　　伸之 | 非常勤 | 2011 年 4 月 1 日就任<br>日本同盟基督教団豊栄基督教会牧師 |
| 7 号理事 | 東　　晴也 | 常　勤 | 2016 年 4 月 1 日就任<br>敬和学園高等学校のぞみ寮寮長 |
| 7 号理事 | 高田　清太郎 | 非常勤 | 2019 年 4 月 1 日就任<br>㈱高田建築事務所代表取締役会長 |
| 監　　事 | 吉澤　　昭男 | 非常勤 | 2002 年 5 月 31 日就任<br>(福)西山福祉会理事長 |
| 監　　事 | 佐藤　　哲也 | 非常勤 | 2009 年 5 月 28 日就任<br>新発田ガス㈱代表取締役社長 |
| 監　　事 | 渡辺　　明紀 | 非常勤 | 2017 年 4 月 1 日就任<br>新発田建設㈱代表取締役社長 |

・責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

①補償契約の内容

私立学校法の改正に伴い、理事会決議により補償契約の内容を決定し、2021 年 12 月 1 日から補償契約を締結した。

対象役員の氏名：

理事　榎本 榮次、宇田川 潔、山田 耕太、小田中 肇、長倉 望、
片岡 宝子、熊江 秀一、横山 由美子、近 伸之、東 晴也、
下田尾 治郎、金山 愛子、高田 清太郎

監事　吉澤 昭男、佐藤 哲也、渡辺 明紀

補償契約の内容の概要：

理事及び監事が職務執行に関して法的な責任追及を受けたときに、その防御費用や損害賠償金を学校法人が負担する。

②役員賠償責任保険契約（2021 年度）の内容

私立学校法の改正に伴い、理事会決議により、2021 年 12 月 1 日から役員賠償責任保険に加入した。

保険期間：1 年間（2021 年 12 月 1 日～2022 年 12 月 1 日）

保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

被保険者：学校法人敬和学園、本学園の理事及び監事

支払限度額：保険期間中総支払限度額 1 億円

保険料：156,610 円

（2）　評議員　（2022 年 3 月 31 日現在）

定数：27 名

| 区　　分 | 氏　　名 | 就任年月日 | 主な現職 |
|---|---|---|---|
| 第 1 号評議員 | 東　　晴　也 | 2015 年 4 月 1 日 | 敬和学園高等学校のぞみ寮寮長 |
| 第 1 号評議員 | 浅 妻　　和 章 | 2021 年 4 月 1 日 | 敬和学園高等学校教頭 |
| 第 1 号評議員 | 佐藤　健一郎 | 2019 年 4 月 1 日 | 敬和学園高等学校教諭 |
| 第 1 号評議員 | 趙　　晤　衍 | 2011 年 4 月 1 日 | 敬和学園大学教授 |
| 第 1 号評議員 | 下田尾　治郎 | 2014 年 4 月 1 日 | 敬和学園大学宗教部長 |
| 第 1 号評議員 | 金 山　　愛 子 | 2003 年 4 月 1 日 | 敬和学園大学学長補佐 |
| 第 2 号評議員 | 川 村　　雅 子 | 2019 年 4 月 1 日 | 新潟市社会福祉協議会職員 |
| 第 2 号評議員 | 樋 沢　　康 博 | 1997 年 5 月 28 日 | 樋沢不動産代表 |

| 区　　分 | 氏　　名 | 就任年月日 | 主な現職 |
|---|---|---|---|
| 第２号評議員 | 上 田　　晋 三 | 2010 年８月１日 | ㈱サンフロスト代表取締役 |
| 第２号評議員 | 長　北　　博 | 2017 年４月１日 | ㈱長北組代表取締役 |
| 第２号評議員 | 近　　伸　之 | 2011 年４月１日 | 日本同盟基督教団豊栄基督教会牧師 |
| 第２号評議員 | 鈴 木　　貴 之 | 2005 年４月１日 | 鈴木貴之社会福祉士事務所代表 |
| 第３号評議員 | 本　間　　彊 | 1995 年３月 17 日 | 丸屋本店㈱代表取締社長 |
| 第３号評議員 | 清 水　　明 次 | 2015 年４月１日 | 日本基督教団小出教会主任担任教師 |
| 第３号評議員 | 横山　由美子 | 2008 年４月１日 | おらって市民エネルギー㈱取締役 |
| 第４号評議員 | 辻 元　　秀 夫 | 2019 年４月１日 | 敬和学園大学寮監 |
| 第４号評議員 | 久保田　愛策 | 2020 年４月１日 | 日本基督教団十日町教会主任担任教師 |
| 第４号評議員 | 片 岡　　謁 也 | 2014 年４月１日 | 日本基督教団若松栄町教会主任担任教師 |
| 第４号評議員 | 髙 澤　　大 介 | 2013 年４月１日 | 菊水酒造㈱代表取締役社長 |
| 第４号評議員 | 熊 江　　秀 一 | 2017 年４月１日 | 日本基督教団大宮教会主任担任教師 |
| 第４号評議員 | 宇 田 川　　潔 | 2001 年３月 30 日 | 敬和学園 副理事長・常務理事 |
| 第４号評議員 | 田 中　　美 香 | 2015 年４月１日 | |
| 第４号評議員 | 鷹 澤　　昭 一 | 2019 年４月１日 | NPO 法人妙高こうげんむら理事長 |
| 第４号評議員 | 田　口　　昇 | 2021 年４月１日 | (福)シャーローム常務理事 |
| 第４号評議員 | 石　原　　剛 | 2021 年４月１日 | パルス電子㈱代表取締役 |
| 第４号評議員 | 小　竹　　城 | 2015 年４月１日 | 敬和学園大学事務局長 |
| 第４号評議員 | 太 田　　信 弘 | 2009 年４月１日 | 敬和学園高等学校事務長 |

（３）教職員数（2021 年５月１日現在）

①　法　人

専　任　職　員　　２名

②　大　学

| | | | |
|---|---|---|---|
| 専　任　教　員 | 25 名 | 専　任　職　員 | 21 名 |
| 特　任　教　員 | １名 | 任期付専任職員 | １名 |
| 契　約　講　師 | ３名 | 嘱　託　職　員 | ４名 |
| 客　員　教　員 | １名 | 臨　時　職　員 | ２名 |
| 非常勤講師 | 64 名 | 非常勤職員 | ９名 |
| 合　　計 | 94 名 | 合　　計 | 37 名 |

③　高等学校

| | | | |
|---|---|---|---|
| 教　　諭 | 33名 | 専任職員 | 24名 |
| 助教諭 | 4名 | 嘱託職員 | 8名 |
| 常勤講師 | 7名 | 臨時職員 | 5名 |
| 非常勤講師 | 9名 | | |
| 合　　計 | 53名 | 合　　計 | 37名 |

## Ⅱ. 中長期計画

### 1. 敬和学園大学の目指すべき方向性（2019～2023 年度計画）

（１）AI 時代のリベラルアーツ教育

「多様性」（ダイバーシティー）と「ICT」をキーワードに、共通基礎科目の講義内容を市民教育へと収斂させるなど、人権・平和・共生にアクセントを置いた教育プログラムを展開するためのカリキュラム改革を実施します。

（２）ミッション・ステートメントと中長期ヴィジョンの共有

ミッション・ステートメントを柱に、大学教職員が一致団結してユニークな敬和教育を創造していきます。地元の学生を地元の地域社会を担う人物に育成していく「地域循環型教育」、とりわけアクティブラーニングに重点を置き、「まちなかキャンパス化」を進めます。

（３）大学の魅力と質保証

大学の各種方針を定め、PDCA サイクルを確立し、教育の質の向上を図ります。2019 年度は第三者評価、2021 年度は大学基準協会による大学評価を受けます。

評価後は、より魅力ある大学となるように改善するとともに、大学の魅力を発信するため、入学から教育活動を経て卒業、就職するまで一貫した広報活動を展開していきます。

（４）学生確保の方針

人口減少が進み、県内の大学進学者も減少することが予想されます。このような状況の中、敬和学園の「7 年間の一貫教育」を具体化して、キリスト教教育・英語教育・情報教育・歴史教育などの教育課程を始め、寮教育、クラブ活動、ボランティア活動、アクティブラーニングなどの課外活動の連携、法人組織の支援協力体制の強化を進めます。敬和学園高等学校からの内部進学者による入学定員の確保と、収容定員の 100%維持を目指します。

（５）学生支援体制の強化

2015 年に開所した学生支援センターと 2016 年に開寮した学生寮について、当初の目的を達成しているかどうか点検評価を行い、改善すべき点を改善します。

学生アンケートや卒業時アンケートの調査結果から、学生の満足度を上げるための学生支援体制を強化し、退学者数 3%以内と就職率 80%達成に努めます。

（６）国際交流の強化

短期留学を促し、在学生の 5%が留学（海外研修を含む）することに努めます。

（７）経営改革・財政改革

教職員一人ひとりが経営マインドをもち、将来を見据えた上で、時機に応じた改革を進めていく必要があります。人件費比率を 60%以下に抑えつつ 180 人の学生確保を前提として黒字化を進めていきます。

## 2. 敬和学園大学の中長期計画の進捗・達成度状況

2021 年度は大学基準協会の大学評価を受け、評価の結果、適合と認定されました。認定期間は、2022 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日までとなります。また、この大学評価によって新たな改善課題が提示されました。主な改善課題として、内部質保証における各組織の権限・役割と連携のあり方、ディプロマ・ポリシーと学修成果の把握・評価方法の関係性、安定した入学者確保による定員管理の徹底等です。これらの改善課題を踏まえて中長期計画を進めていくことになります。

一方、大学評価の長所として、高等学校と大学の「7 年間の一環教育」の教育連携推進の取り組みがあげられ、学生の情報共有の仕組みの整備や学修プログラムの連携が教職協働のもとに進められていることが評価されました。こうした取り組みの一つとして、2021 年度の法人研修会では、高等学校の平和活動グループと大学の平和学習サークルが活動報告を行い、少しずつですが高大連携の成果を出しています。

国際交流に関しては、新型コロナウイルスの影響により、予定していた短期留学は全て中止となりましたが、オンラインよる国際交流活動は行われています。次年度は世界情勢をみつつ海外留学も復活させる予定で計画を進めています。

## Ⅲ. 事業の概要

理事長　榎本　榮次

学校法人敬和学園の 2021 年度の事業概要を報告します。

### 1. 法 人

今日、わたしたちは地球規模で大きな危機に曝されています。一つ目はコロナウイルスです。2 年続きのコロナ禍の中、異常な状態はなお続いています。どの国も大きなブレーキがかかっており、その出口はまだ見えていません。

二つ目は地球温暖化による気候変動。温暖化による気候変動は、地球全体に大きな災害をもたらしています。国家間の利害を超えて大きな危機です。人類にとって何が繁栄かという問いにぶつかっています。エネルギー政策がどちらに向かうか大きな課題です。

そして三つ目としてロシア侵攻によるウクライナの戦争です。発達したこの時代にどうしてこのようなことが起きるのかと思われる悲劇を引き起こしています。ウクライナの当事者ばかりではなく、核戦争を伴う世界戦争になりかねない様相を呈しています。

これらの危機は避けて通れない大きな難問であり、世界に大きな恐怖を与えています。これらの要因は様々あげられますが、発展はある意味で人類の破壊への道でもありました。人類がこれまで生産性と発展のみを優先させ、それらを正義とし、貧しいこと、遅いこと、全て生産性の低いものを悪のようにしてきたことへの警告ではないでしょうか。この危機を乗り越えるために知恵と力が求められています。

その様な状況の中にあって、敬和学園の存在意義を問うてみたいと思います。ある人は言います。「誰でも入れる偏差値の低い学生を集めるような学校の存在意味はない。無駄である。無くなればいい」と。このような考えや価値観に立つ人にあちこちで出会います。それは全く的外れと言わなければなりません。ここには希望がありません。現在、世界を覆う危機はここに大きな要因があるのではないでしょうか。固定した枯れた骨のような死が支配しているばかりです。

土の塵から人の形が造られ、それに神の息がかけられて生きた人になりました。（創世記 2；7）また枯れた骨に神の息がかけられると人の集団になりました。（エゼキエル書 37；5）この予言にこそキリスト教主義によって立つ教育があります。そしてそれこそが敬和学園が今日、地方の小さな学園としてこの地になくてはならない存在意義です。

敬和学園には、実に豊かな特質を持つ学生生徒が集っています。中には学習に困難を覚える学生生徒もいます。しかし学習にふさわしくない人など一人もいません。皆素晴らしい神の似姿を秘めた人格です。敬和学園はここに立つのです。どんな人格にもかけがえのない宝物がある。それを発見するのが学問であり、命です。建学の精神「敬神愛人」のもと高校も大学も、課題を残しつつもそれぞれ協力しながら工夫と努力をもって歩んでいます。このことは神の深い憐みと、理事、評議員の皆様をはじめ敬和学園を支え応援してくださる方々の

尊いご協力によるものであることを思い、深く感謝申し上げます。ゆっくり一人ひとりとじっくり付き合う地方の温かさの中に世界を救う希望があることに目を向けましょう。

理事会に託された課題は、敬和学園がその教育理念にしっかりと立ち、教育現場が安心して活動できるように支え応援することです。そのためには、運営の健全化が必至です。

まず、学生生徒数の確保が求められます。2021 年度の新入生は、大学においては定員 180 名に対して 177 名が得られました。しかし高校では 200 名定員に対して 160 名と定員を大きく割りました。2022 年度は、大学 165 名、高校では 172 名の入学者を得て若干の回復が見られます。コロナ禍による窮状、少子化での生徒数の減少、経済的理由など高校、大学共に厳しい場に立たされています。

入学者の確保も重要ですが、それ以上に、緊急の課題は退学者を減らすことです。このための具体的な方策が高校、大学において模索されています。少しずつ減少傾向が見られます。受け入れたからにはその子を卒業まで連れて行く責任があります。既成概念で生徒に「ここまで来い」ではなく、生徒のところに寄り添う教育の方法が求められます。甘やかすのではなく、取り組ませる工夫が必要です。

財政の課題は尽きません。2021 年度は前年に比べて赤字が大分増えています。前年度が法人全体で 5400 万円の支出超過であったのに対し、2021 年度は約 1 億 2000 万円と大きな支出超過になりました。その内訳は法人本部が 3200 万円、大学が 2200 万円、高校は 6600 万円のいずれも支出超過です。生徒減少が主な要因です。収入の主な財源は学生生徒納付金と経常費補助金と他に寄付金です。支出の主なものは人件費、教育研究経費、管理経費です。大学は近年定員が確保でき改善されましたが、楽観できません。高校は生徒減少で深刻な事態です。来年度も大幅な赤字が予想されています。焦ることはありませんが、今後赤字幅をできるだけ小さくするよう努力しなければなりません。

敬和学園は、「キリスト教主義に基づく人格教育」をモットーに人づくりの教育に取り組んでいます。「一人ひとりを大切に」「少人数教育の徹底」「労作教育」「7 年一貫教育」を掲げ、特に大学では「リベラルアーツ」「アクティブラーニング」「地域と共に人づくり」などを共通の理念としています。高校大学共に協力しながら進めています。

毎年、高校から大学へ生徒を 50 名送り出すことが目標です。2021 年度は 39 名（過年度卒業者含む）が高校から送り出されました。2022 年度は 20 名（過年度卒業者含む）です。これを強化する必要があります。「7 年かけて地域に生きる人づくりをする」という大きなビジョンです。秋には高大合同で研修の機会を持つことができました。「高大連携推進」が具体的に見える形で示されました。そのほか授業やクラブ活動での連携強化を図りたいものです。

私学の特徴として寄付による支えも重要です。学園への寄付は、財政活動とともに教育的意味があります。私学はそれで成り立つところです。残念ながら近年、寄付への動きが鈍くなっています。それは敬和教育への期待が薄まっていることの現れとも言えます。敬和教育

への理解を深めつつ、支援を求めていきたいと思います。良い教育の場には寄付が集まります。地域の「敬和の会」も少しずつ開かれています。皆さんのご協力を心からお願いいたします。

敬和学園大学の後援団体であるオレンジ会が心温まる支援をくださっています。敬和学園でこそみられる地域の教育力です。

学園の職場が安心して働ける場となることは重要な課題です。そのためには、高い倫理観としっかりとした人権意識、互いの信頼関係が欠かせません。敬和学園の職場において、いくつかの残念な出来事が起きました。このようなことはどこでも起こりうることですが、大切なことはその時どう対応するかです。反省を生かし、処置が的外れにならないように留意したいと思います。仲間を裁き合うことは避け、恐怖と派閥が支配するような職場でないような自浄作用が必要です。ハラスメントや非民主的な力が支配的な学園にしてはなりません。表面的な平和ではなく、ぶつかり合いながらも互いを認め合う民主性を身につけねばなりません。互いの欠陥を補い合いつつ、より高い理想に向かって高め合う職場、学園にしていかなければなりません。

教職員の生活をしっかりと保障し、安心して働ける職場にしていきたいと思います。教職員の生活の安定は法人の基本的責務です。基本給の安定と、夏冬の賞与が出せるように努力しています。無駄な超過勤務や浪費も気をつけて減らすようにしましょう。

新型コロナウイルスによる被害は行き着くところを知りません。幸いなことに敬和学園として今までに、大きな感染が起きていません。ウイルスによる被害もさることながら、そこから波及する人間関係や経済的打撃は未曾有のものがあります。いたずらに動揺せず、慎重に対応したいと思います。

おわりに、

聖書は「神はご自分にかたどって人を創造された。・・・神はこれを見て、良しとされた」（創世記 1）とあります。このように天地創造物語は肯定から始まります。そして私たちのキリスト教主義学校は「すべて教育は、否定からではなく、肯定から始まる」ものでなければなりません。いかなる否定も、絶対的肯定が前提になります。敬和学園に送られてきたすべての学生生徒を「神の似姿を宿す者」として尊び、援助する学園でありたいと願います。自己をそのまま肯定し、本来の自身への歩みが始められるよう援助します。

## 2. 大 学

大学では、2019年度に第三者評価を受け、大学評価申請の準備を進めてきました。2020年度は第三者評価での指摘を踏まえて改善に取り組み、2021年度に大学基準協会の第3期の大学評価（認証評価）を受け、「適合」の認定を受けました。認定の期間は2022年4月1日から2029年3月31日までとなります。

以下、2021年度の大学の教育研究活動等の取り組みついてご報告します。

（1）大学の理念・目的、３ポリシー

◇建学の精神

神を敬い、人に仕える

◇ミッション・ステートメント

敬和学園大学は、キリスト教精神に基づく自由かつ敬けんな学風の中でリベラル・アーツ教育を行い、グローバルな視点で考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重んじ、隣人に仕える国際的教養人を育成する。

◇ヴィジョン

隣人に仕え持続可能な社会を担う良識ある市民を育成し、地域社会と国際社会に貢献する。

◇ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 人権と人間の尊厳の原理を尊重する姿勢と真理を希求する姿勢を身につけている。（基礎知識）
2. グローバルな視点をもち、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現することができる。（専門知識、論理的思考、批判的思考）
3. 対話とコミュニケーションを重んじ、隣人に仕えることができる。（コミュニケーション能力）
4. 高い倫理的基準を持ち、地域社会に貢献することができる。（社会との関係）

◇カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

1. キリスト教に基づいたリベラルアーツ教育により、人権と人間の尊厳の原理を尊重する態度と教養を養う。（基礎知識）
2. 異なる文化について複眼的に見ることができ、分析的・批判的に考えて判断し、明瞭かつ効果的に表現する力を養う。（専門知識、論理的思考、批判的思考）
3. 日本語と外国語を用いて、人とのコミュニケーションを豊かにする能力、さらに、情報リテラシーを身につけて、社会と対話する情報の受発信を行う能力を養う。（コミュニケーション能力）
4. 地域や国際社会の課題について理解を深め、インターンシップ等を通して社会に貢献する力を養う。（社会との関係）

◇アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）

1. グローバルな視点に立って考え、対話とコミュニケーションとボランティア精神を重視する、国際的教養人をめざす人。
2. 敬和学園大学における学びを通じて、「人間とは何か、人生をいかに生きるか」を考える意欲を持つ人。

3. 真理と自由を探求する意欲があり、人の役に立ちたいと考える人。

（2）教学・学生支援

2021 年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス禍での活動に終始した一年となりました。4 月には新入生オリエンテーションを、従来より縮小する形式で学内にて実施しました。同じく 4 月には感染防止対策を講じて、池上 彰氏を講師に迎えて、新入生歓迎学術講演会を開催しました。10 月の敬和祭（学園祭）は在学生に対しては対面で行い、それ以外の方に対してはオンライン中継で配信しました。12 月にはスポーツ大会を 2 年ぶりに開催しました。感染が拡大した 1 月下旬にはオンラインの授業期間を設け対応しました。2 月には入学予定者を対象とする入学前スクーリングをオンラインで開催しました。その他の入学式、卒業式等の行事は、基本的に対面で実施することが出来ました。

また、「実践するリベラルアーツ教育」に相応しい人物の育成のために、2016 年度に「学生寮」を開寮して 6 年目の 2021 年度は、定員 40 名のほぼ 9 割の寮生で寮運営を開始しましたが、退寮者が出てしまい、年度の途中では 7 割の寮生となってしまいました。年度の途中より寮監を交代して運営体制を強化した結果、暫く空席となっていた寮長、副寮長等を選出すると共に、寮生が中心となり寮規約を制定することができました。「学生寮」は、同じく 2016 年度にオープンした隣接する「新発田市立図書館」を含めた複合施設「イクネスしばた」と共に、魅力的な施設となっていますので、今後も円滑に運営ができるように努めていきます。

「まちカフェ・りんく」の設置場所だったスペースを有効利用して、研究を通じて地域連携を行う「まちラボ」、学生団体の活動拠点としての「まちスタ」の名称で、事業を展開してきましたが、周辺地域の再開発のため、2021 年度の 11 月を以って退去し、活動の拠点を一旦学内に移しました。引き続き、活動拠点をまちなかで探していきます。

カリキュラムに関して、2021 年度より英語教育プログラム KEEP（Keiwa Extensive English Program）の科目をレベル別に開講する等、英語教育の更なる充実を図りました。また、英語文化コミュニケーション学科は、2020 年度よりグローバル・マインドを備えた人材を育成するキャリアコミュニケーション・コースを開設して、新カリキュラムを導入しましたが、2 年目となる 2021 年度は本格的なスタートとなりました。国際文化学科では、2019 年度に新設した「情報メディア・コース」のカリキュラムが 3 年目を迎え、ほぼ全科目が開講されました。共生社会学科も、2021 年度より「ソーシャルワーク・コース」のカリキュラムを大幅に改定して開始しました。

また、2015 年度に「学生支援センター」を開所し、生活・学習・就職などにおいて困難を抱えている学生を支える仕組みを構築してきましたが、2021 年度は一部スタッフの交代をして対応すると共に、学内外の諸機関とも連携し、組織的に学生を支援して、退学者数を抑制する体制を強化しました。

さらに、教育・地域貢献活動を充実していき、併せて補助金獲得の活動を実施していきます。

なお、2019 年度末より新型コロナウイルス感染拡大防止のために、国を挙げた対策が講じられていますが、本学としても、基本的には対面授業を主体として行いオンライン授業も組み合わせていく方針で、学生・教職員及び関係者の安全確保と感染防止、学生への教育サービス確保のために、柔軟且つ適切に対応していきます。

併せて、年度内の除籍者を含む退学率を 3%以内に収めるよう退学防止に取り組み、結果として 4.1%（31 名）となり、昨年度の比率 4.2%（31 名）とほぼ同じ数値となり、目標値には達しなかったため、引き続き、関係部署において具体的な対策を検討して対応していきます。

（3）就職

就職を希望する学生を分母とした就職率が 98.2%で前年比＋1.3%、卒業生を分母とする就職者の割合が 74.8%で前年比－0.6%となりました。卒業生を分母とする就職者の割合が目標値の 80%に大きく届きませんでした。

2021 年度は業種によって違いはあるものの、採用活動はオンラインを活用しながら従来通り行われるようになりました。他方、学生側では長年のコロナ禍でのストレスに加え、就職活動に対するストレスも重なり、心身不調を訴える学生が増えました。最後まで就職活動を継続できない学生が多かったことが卒業生を分母とする就職者の割合低下の一因ではないかと分析しています。

「キャリア教育」「職業教育」「就職活動支援」プログラムの実施に関してはコロナ禍 2 年目ということもあり、従来通りとはならなかったものの、オンラインを活用しながら混乱することなく実施することが出来ました。

1 年生の「基礎ゼミガイダンス」「後期ガイダンス」は昨年度に引き続き、オンライン形式（オンデマンド配信）で実施しました。

２年生後期の授業科目「キャリア開発入門」もオンライン授業で実施し、履修者も目標値を上回り、学生の満足度も高い結果となりました。「キャリア開発入門」は 2 年生が今後の学生生活を送っていくための動機付けとして非常に有効であると感じることから、オンライン授業を継続することが条件となりますが、今後は必修化も検討していこうと考えています。

３年生「キャリア開発」は、対面授業を zoom で配信するハイブリッド型に変更して実施しました。また、面接練習やマナー講座等のオンライン授業では実施できないプログラムは感染状況を注視しながら、後期にガイダンスとして希望者を募り対面で実施しました。就職活動準備に必要な情報は十分伝達できたと思います。

３年生を中心に毎年実施しているインターンシッププログラム等の実習は、受入れ企

業は減ったものの、官公庁やホテル、印刷会社等で実施を再開することができました。ただし、実習期間前に感染拡大期に入り、実習がキャンセルになる学生が出る等、まだまだ本来のプログラムに戻すことは難しそうです。

３年次生保護者との懇談会、企業との就職懇談会、学内合同企業説明会等の学内イベントについては前年度に引き続き、新しい実施方法で効果的な運営を行うことができました。

また、就職支援の一貫として行っている授業科目「ビジネスマナー講座（秘書検定対策）」は約 60 名、「SPI 対策」は約 100 名と 2021 年度も多くの学生達に学ぶ機会を提供することができました。「ビジネスマナー講座」に関しては、目標とした秘書検定２級の合格率 50%を大きく上回ることが出来ました（第 125 回試験 62.5%、第 126 回試験 76.9%）今後も継続して両科目の履修を推奨していきたいと考えています。

【2021 年度　就職状況】　（2022 年５月１日現在）

就職率　74.8%、就職内定率　98.2%、就職者数　110 名、進学者数　２名

主な就職先

アクシアルリテイリング㈱、アークランドサカモト㈱、㈱ウオロク、ANA クラウンプラザホテル新潟、㈱エフエムしばた、大江戸温泉物語ホテル＆リゾーツ㈱、（福）からし種の会、㈱コンサドーレ、さくら日本語学校、（福）シャーローム、㈱クラッシュアンドカンパニー、㈱大創産業、㈱タカヨシ、TBC グループ、燕市役所、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム㈱、（福）長岡福祉協会、新潟縣信用組合、新潟県小学校教諭、新潟県中学校教諭、新潟県労働衛生医学協会、日産プリンス新潟販売㈱、㈱ハードオフコーポレーション、㈱はあとふるあたご、はばたき信用組合、㈱北越ケーズ、丸三証券㈱、みなみ魚沼農業協同組合、㈱吉運堂　他

（４）広報・入試

2022 年度入学者は 165 名と、２年連続で入学定員に届きませんでした。学科別では、国際文化学科（86 名、充足率 107.5%）が定員を超える入学者を集めたことに対し、英語文化コミュニケーション学科（40 名、充足率 66.7%）と共生社会学科（39 名、充足率 97.5%）は定員に達することができませんでした。また、法人間では、高校からの入学者が 20 名（前年比－19 名）と減少し、定員を達成できなかった大きな原因の一つとなりました。

2020 年 2 月ころから続く新型コロナウイルス感染拡大の影響は依然として大きいものがあります。高校訪問では、感染予防の観点から訪問回数を十分に重ねられませんでした。また、業者主催の会場ガイダンス、高校内ガイダンスも、中止やオンラインのみで実

施されるケースもあり、コロナ禍前に比べて思うように動けない面もありました。しかしながら、ガイダンスの次のステップとして位置付けられる 7 月以降のオープンキャンパスは、毎回定員をほぼ満たす形で３回実施することができました。コロナ禍にあって、受験生への直接的な接触が難しい状況で、丁寧な資料送付やメールアドレスへの DM を活用したことが成果につながりました。

オープンキャンパスは、高校側の指導もあり、参加者の多くは受験を控えた 3 年生でした。オープンキャンパスおよび英検講座等の参加者数（敬和学園高校以外の高校 3 年生）は 259 名（前年比 ＋34 名）と前年を大きく上回ることができました。そのうちの 108 名（前年比＋16 名）が出願、92 名（前年比＋14 名）が入学手続きにつながっています。出願率は 41.7%（前年比＋0.8%）、入学率は 35.6%（前年比＋0.9%）となり、前年を上回りました。オープンキャンパス等参加者の多くが、本学を第一希望として推薦型選抜または総合型選抜（AO）で受験してくれました。イベントを通じて、敬和学園大学らしい一人ひとりを大切にする姿勢を実際に体験していただくことで、本学を第一希望とする受験生を安定的に確保することができたといえます。

その一方で、昨年まであった新潟県内受験生の地元志向が弱まり、共通テスト利用型を含む一般選抜の志願者数が大きく減少（246 名→177 名、前年比－69 名）しました。このような受験者数の減少に伴い、一般選抜の入学者数は、44 名（前年比－9 名）と落ち込みました。一般選抜での入学者数の減少が、そのまま全体の入学者数減少につながっています。総合型・推薦による入学者数（留学生等を除く）の比率は、ここ数年高まってきて（2020 年度 64.0%、2021 年度 69.4%、2022 年度 72.7%）います。しっかりと学力型選抜への取り組みをしてきた入学者が減ってきていることによる学びや就職への影響を調査し、全学的に適正な比率を議論・検討した上で、今後の入試戦略を検討していく必要があります。

資格特待生の採用人数は、17 名（前年比－3 名）でした。資格特待生のうち、英語文化コミュニケーション学科の学生の比率は、70.6%（前年比＋20.6%）と高まっています。英語文化コミュニケーション学科の新入生のうち、30%（前年比＋7.2%）が資格特待生となっています。特待生比率についてもその推移を見ながら適正値を検討し、制度設計を整える必要があります。

（5）新型コロナウイルス感染症対応について

2021 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、校内の除菌清掃や三密を避けるための学バスの増便、遠隔授業を円滑に行うための学内通信環境の整備を行いました。これにより学生、教職員の感染者を少人数に抑えることができ、新潟県が特別警報を発令したことによる 9 月 20 日から 10 月 2 日の間と、まん延防止等重点措置適用を発令した期間の 1 月 13 日から 1 月 22 日の間にオンライン授業を実施した以外は、

対面授業を実施することができました。

また、8月から9月にかけて朱鷺メッセで行われた新潟県の大規模接種会場において、新発田市の接種枠をいただき、本学の学生、教職員をはじめ、学生の家族や教職員の家族約480名がワクチン接種を行いました。お陰様で、早い段階で2回目の接種を終えることができ、感染予防対策を進めることができました。新発田市のご支援に深く感謝申し上げます。

（6）財政

2021年度決算において、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた「基本金組入前当年度収支差額」は2237万円の支出超過となりました。昨年度は258万円の収入超過となり、若干ながらも黒字を計上しましたが、再び赤字に転じました。当初予算では約1500万円の赤字見込みでしたので、約700万円の赤字増額です。主な要因として、過年度購入物品等の処分による資産処分差額約1300万円の計上があげられます。これは予算外の会計処理上の支出です。これを除けば支出超過額は当初予算の範囲内に収まっています。

収支の状況について、収入面は、学生数が収容定員を超過し761名となったことから、学納金だけでなく学生数と連動する収入が回復傾向にあります。一方支出面は、本年度から着手した中期計画の大規模修繕の工事費や、コロナ禍での必要な支出が計上されています。将来の教育事業に必要な支出については適切に対応し、視覚障害者誘導用ブロック敷設工事1276万円は国のバリアフリー補助金を活用して実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策費用として、合計約1800万円の費用を計上しました。主な内容は以下のとおりです。

| | |
|---|---|
| 感染対策（学バス増便（三密回避）、保健衛生品、緊急対応用アパート他） | 9,249千円 |
| 遠隔授業等通信環境（Zoomライセンス、無線LAN保守他） | 1,049千円 |
| 衛生環境（学内除菌清掃、朝換気） | 6,071千円 |
| ワクチン接種分（8～9月新潟県大規模接種実施経費） | 1,433千円 |

本年度も財政健全化に向けた収支改善の取り組みとして経費削減を継続し、合計で約2千万円の削減を実施しました。収入回復と削減努力により、決算収支は以前のような大幅な支出超過とはならず、資金面に影響が出ない範囲に収めることができました。

決算の結果、本年度末の保有資金は13億1千万円、前年度末に比べて約3千万円増加しました。大学運営に必要な資金としては十分確保できています。この収支回復の兆しに気を緩めることなく、今後も財政健全化に向けた取り組みを進めてまいります。

また、本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学生や大学の教育活動

に対しまして、大学後援会、オレンジ会、留学生を支える会の皆様方より多大なご支援を賜わりましたこと心よりお礼と感謝を申し上げます。

（7）2021 年度　卒業者数（9 月卒業者含む）

| | |
|---|---|
| 英語文化コミュニケーション学科 | 45 名 |
| 国際文化学科 | 78 名 |
| 共生社会学科 | 28 名 |
| 合　　計 | 151 名 |

（8）地域連携・地域貢献活動（新発田市・聖籠町関係）

【前期】

6 月 26 日　聖籠町網代浜海岸清掃ボランティア
6 月 26 日　新発田市廃校清掃ボランティア（旧菅谷小学校）
7 月 3 日　新発田市廃校清掃ボランティア（旧米倉小学校）
7 月 4 日　ビブリオバトル（新発田市立中央図書館）
7 月 6 日～10 月 23 日　新発田駅前・商店街きものウォーク
7 月 24 日　聖籠町キッズ・カレッジ（子ども英語教室）①（聖籠町町民会館）
9 月 11 日　新発田市藤塚浜海岸清掃ボランティア
10 月 3 日　新発田市防災ジオラマ作成・展示（新発田市総合防災訓練会場）

【後期】

10 月 2・3 日　赤い羽根共同募金・街頭募金ボランティア（新発田市内）
10 月 9 日　聖籠町キッズ・カレッジ（子ども英語教室）②（聖籠町町民会館）
10 月 18 日　新発田市オープンカレッジ①（イクネスしばた）
10 月 25 日　新発田市オープンカレッジ②（イクネスしばた）
11 月 19 日　新発田市内の道路清掃（大学―西新発田駅間）ボランティア
11 月 19 日　新発田市廃校清掃ボランティア（旧天王小学校）
12 月 12 日　ビブリオバトル（新発田市立中央図書館）
12 月 18 日　聖籠町キッズ・カレッジ（子ども英語教室）③（聖籠町町民会館）
12 月～2 月　しばたオイスターバー2022　PR 映像制作・提供
2 月　新発田市まちづくりドラフト会議 for Youth 2021　参加・提案

【通年】

・KEIWA Petit Marche （新発田市役所札の辻広場　4 回開催）
・新発田市川東地区上三光農福連携事業
・イクネスサポータークラブ　講師派遣
・しばたフードバンク寺子屋　小学生学習支援

・阿賀北ノベルジャム 2021

・ラジオ番組「敬和キャンパスレポ」（エフエムしばた）

・少年野球 グラウンド貸し出し（新発田リトルシニアリーグ）

（9）オープンカレッジ等主な行事

| 日　程 | 演　　題 | 講　　師 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 新発田市　オープンカレッジ　会場 ： イクネスしばた | | | |
| 10月18日（月） | 哲学者は笑いについてどう考えてきたか | 井西 弘樹 専任講師 | 29名 |
| 10月25日（月） | 人間のケア・地域のケア・地球のケア～2030未来への大分岐・私たちにできること～ | 石坂 誠 准教授 | 24名 |
| 聖籠町　キッズ・カレッジ 「子ども英語教室」　会場 ：聖籠町町民会館 | | | |
| 7月24日（土） | 英語で遊ぼう！（その1） | 大岩 彩子 准教授<br>英語文化コミュニケーション学科学生 | 14名 |
| 10月9日（土） | 英語で遊ぼう！（その2） | 大岩 彩子 准教授<br>英語文化コミュニケーション学科学生 | 16名 |
| 12月18日（土） | 英語で遊ぼう！（その3） | 大岩 彩子 准教授<br>英語文化コミュニケーション学科学生 | 13名 |
| そ　の　他 | | | |
| 4月17日（土） | 新入生歓迎学術講演会<br>「コロナの時代をどう生きるか」 | 池上 彰 氏（ジャーナリスト） | 232名 |
| 5月8日（土） | 英検2級 一次・二次試験対策<br>英語集中講座 | 主濱 祐二　准教授 | 22名 |
| 5月8日（土） | 英検準2級 一次・二次試験対策<br>英語集中講座 | 上野 恵美子　講師 | 22名 |
| 9月18日（土） | 英検2級 一次・二次試験対策<br>英語集中講座 | 大岩 彩子　准教授 | 12名 |
| 9月18日（土） | 英検準2級 一次・二次試験対策<br>英語集中講座 | 金山 愛子　教授 | 8名 |
| 3月 19日（土） | 「阿賀北ノベルジャム2021」グランプリ授賞式 | 於：志まや（オンライン） | 29名 |

## Ⅳ. 教員･職員研修会

### 1. 法 人

11 月 27 日（土）　高等学校・大学合同研修会　　場所：敬和学園大学

理事、監事、大学・高等学校教職員　103 名

主　題　「コロナ禍にあって高大連携をすすめるために」

第 1 部　開会礼拝

第 2 部　講演「新校長としての抱負～高大連携に触れつつ」

講師：小田中 肇 敬和学園高等学校校長

第 3 部　平和学習活動報告

菅原 只行　敬和学園高等学校教諭

敬和学園高等学校英語特講受講生

敬和学園大学 Keiwa Peace Project～祈り・つながり・希望～

川又 正之　敬和学園大学教授

第 4 部　高大連携状況報告　　川又正之　高大連携推進委員

### 2. 大 学

9 月 8 日（水）　事務職員研修会（SD 研修会）　学長・職員　29 名

・業務改善案の検討（グループ討議・発表）

・オンライン講座「私学でも急増するハラスメントを巡るトラブル事案への防止と事後対応の実務」（課長職以上受講）

9 月 29 日（水）　研究倫理・コンプライアンス研修会　教職員　36 名

10 月 27 日（水）　FD・SD 研修会　教職員　25 名

「学びの質の向上と制度の効率化に向けて」（発題とグループ討議）

講師：金山 愛子　FD/カリキュラム委員長

12 月 22 日（水）　SD 研修会　教職員　59 名

「ハラスメント防止研修会」

講師：私学労務研究会　里内 友貴子 弁護士

3 月 1 日（火）　FD 研修会　教職員　53 名（非常勤講師含む）

「視覚障害のある方の受け入れと人権について～当事者として、社会福祉の教員として～」

講師：磯野 博　静岡福祉医療専門学校　総合福祉学科長

## 3. 高等学校

7月21日（水）　夏の教員研修会

「敬和教育の先にあるもの」

社会科の目指す人生を豊かにする学び　宮本 武呂 先生

大学進学者に対する数学科の役割について　青柳 希望 先生

一人ひとりを大切にする教育とは　小田中 肇 校長

分団協議および各分団の発表

12月23日（木）　冬の教職員研修会

「一人ひとりを大切にする教育～転・退学者を減らすために～」

転・退学者を減らすために　中途転・退学者対策会議（仮称）報告

浅妻 和章 教頭・大倉 雄介 先生

分団協議および質疑応答

## Ⅴ. 当期に行った主な新規事業

### 1. 大 学

（１） 新入生歓迎学術講演会（2021 年４月 17 日（土）、体育館）　893 千円
講師：池上彰先生　演題：「コロナの時代をどう生きるか」

（２）大学基準協会の認証評価に係る手数料　2,585 千円

（３）高等教育修学支援制度（高等教育無償化）
国の認定を受けた新入生や在学生が「授業料と入学金の減免（免除又は減額）」と「給付型奨学金（返還不要）」の二つの支援を世帯収入に応じて受けられる。
授業料等減免費交付金　49,145 千円
※同額奨学費計上、94 人分

（４）学生寮（2016 年４月開設、2021 年４月の寮生 37 人（充足率 92.5%））

| | | |
|---|---|---|
| 収入 | 寮費用収入（総額表示） | 18,350 千円 |
| | 新発田市からの補助金 | 12,000 千円 |
| 支出 | 寮補助活動費（総額表示） | 38,919 千円 |
| | 人件費（寮監ほか） | 1,636 千円 |
| | 寮施設設備減価償却額 | 1,735 千円 |
| | 学バス増便分 | 5,476 千円 |

（５）学長裁量費関係
アクティブラーニング活動費６件分　805 千円

（６）事務局勤怠管理クラウドシステム・給与計算アウトソーシング　2,142 千円

### 2. 高等学校

（１）生徒納付金改定（学年進行２年目、２年生適用）
・施設充実費、冷暖房費　月額　１千円値上げ
・寮教育管理費　年額 10 千円値上げ

（２）絵画寄贈　評価額　3,000 千円

## Ⅵ. 当期に行った主な施設設備の整備状況

### 1. 大　学

| | |
|---|---|
| （１）新発田館・ニューエル館外部改修工事 | 39,270 千円 |
| （２）視覚障害者誘導用ブロック敷設工事他（補助金活用） | 12,760 千円 |
| （３）学生送迎用マイクロバス入替（後援会からのご支援） | 7,260 千円 |
| （４）Ｓ３１教室・食堂オレンジホールＬＥＤ化工事 | 3,018 千円 |
| （５）聖籠館キャノピー補修工事 | 2,090 千円 |
| （６）防災タワー・防災倉庫設置（後援会からのご支援） | 2,224 千円 |
| （７）グラウンド防球ネット補修工事 | 1,289 千円 |
| （８）教務ＧＡＫＵＥＮシステム入替 | 4,620 千円 |
| | （５年リース、本年度支払額　231 千円） |

### 2. 高等学校

| | |
|---|---|
| （１）女子寮２館　エアコン設置工事 | 35,000 千円 |
| （２）校舎地下タンクライニング工事 | 4,180 千円 |
| （３）グラウンド整備工事 | 1,716 千円 |
| （４）光風館浴室改修工事 | 1,603 千円 |
| （５）スクールバス駐車場前排水改修補強工事 | 1,430 千円 |

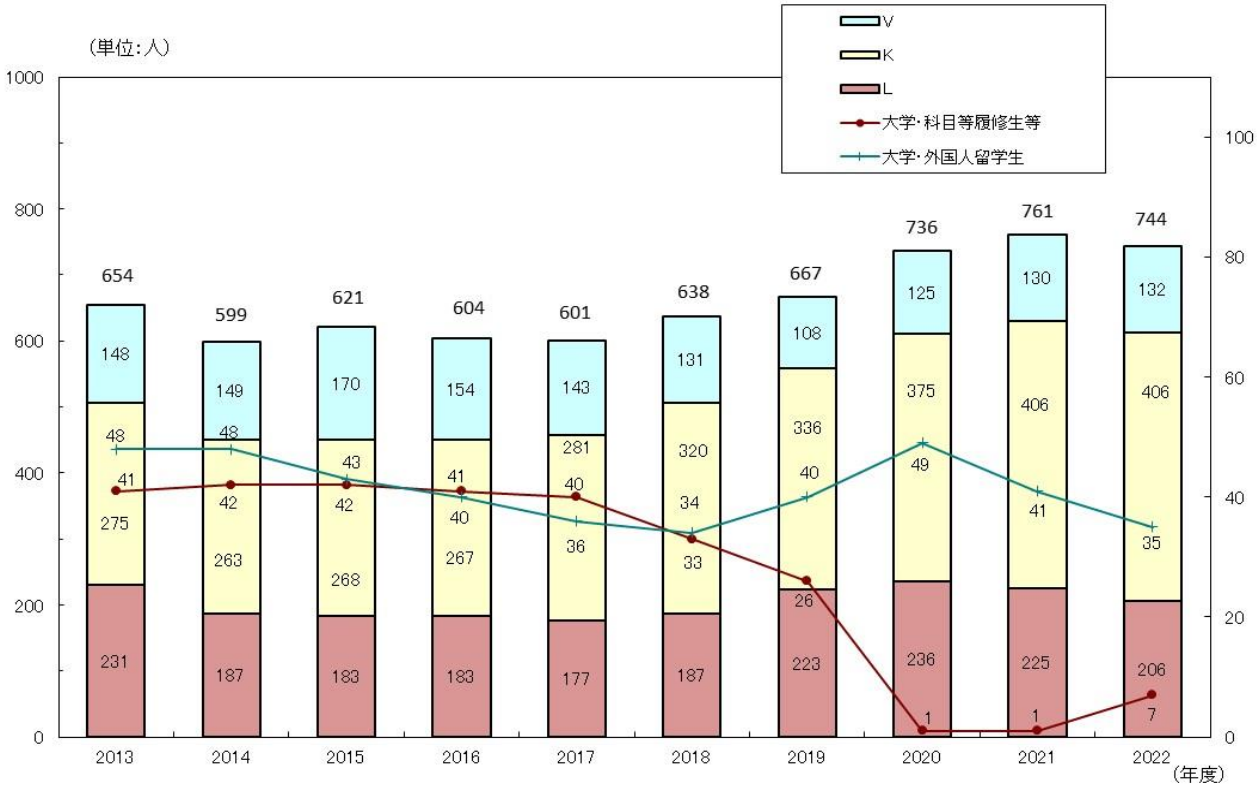
## Ⅶ.学生数・教職員数等の推移

（学生数・教職員数等は各年度の５月１日現在）

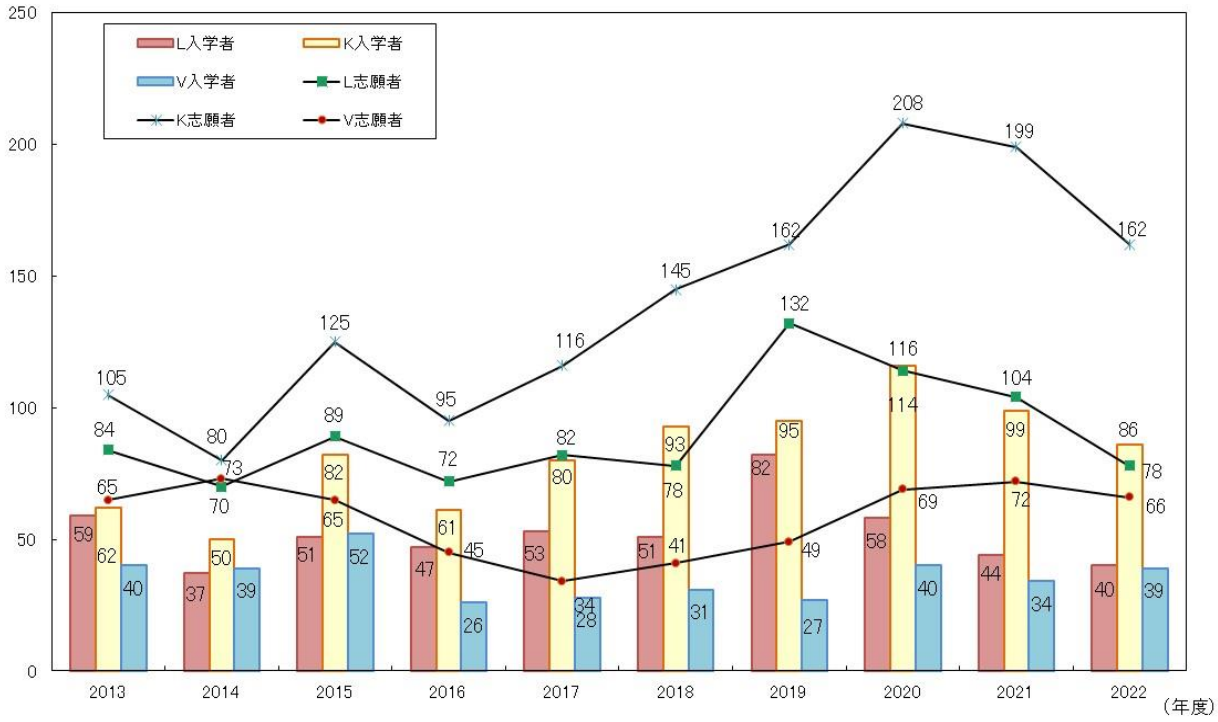
《大学部門》

Ｌ＝英語文化コミュニケーション学科
Ｋ＝国際文化学科　　Ｖ＝共生社会学科

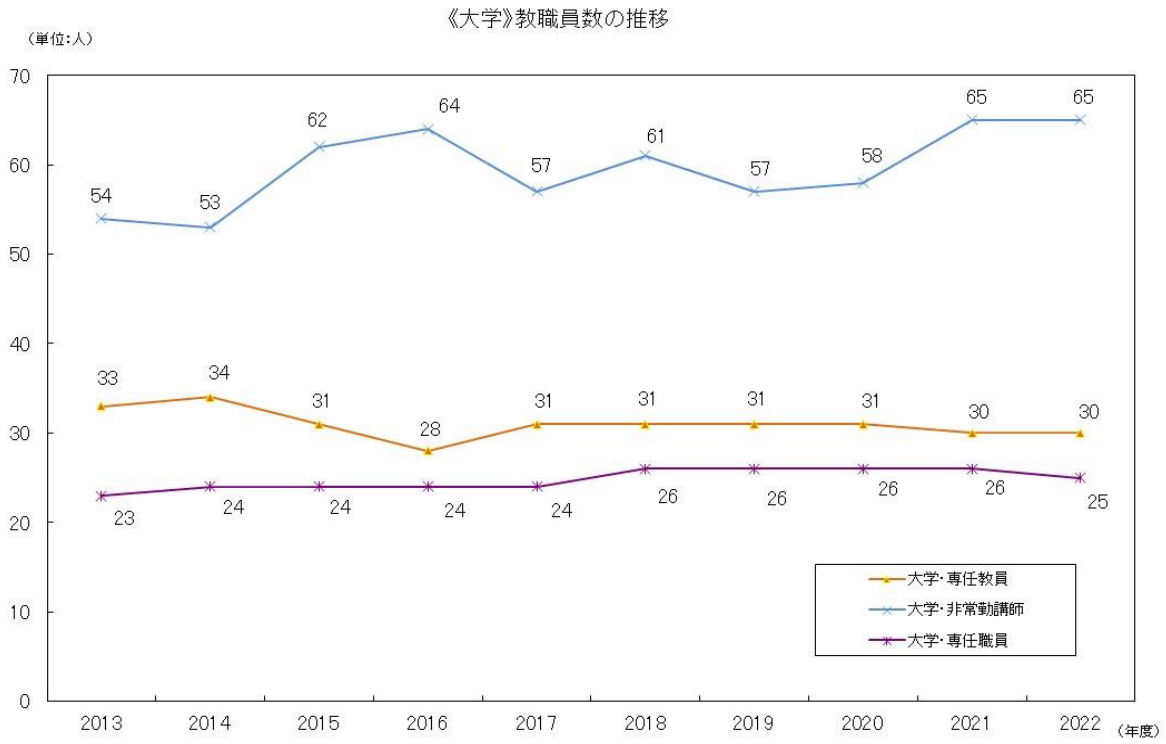
《大学》学生数




《大学》志願者数と入学者数



《大学部門》


《大学》教職員数の推移
（単位:人）
70
60
50
40
30
20
10
0
54
53
62
64
57
61
57
58
65
65
33
34
31
28
31
31
31
31
30
30
23
24
24
24
24
26
26
26
26
25
大学・専任教員
大学・非常勤講師
大学・専任職員
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
（年度）

## Ⅷ. 財務の概要

### 1. 決算の概要（法人全体）

（１）貸借対照表関係

①貸借対照表の状況と経年比較

（千円）

| | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 固定資産 | 4,437,695 | 4,363,556 | 4,032,684 | 3,832,878 | 3,710,038 |
| 流動資産 | 1,600,988 | 1,572,883 | 1,725,388 | 1,894,831 | 1,878,800 |
| 資産の部合計 | 6,038,683 | 5,936,440 | 5,758,072 | 5,727,710 | 5,588,839 |
| 固定負債 | 388,147 | 395,402 | 405,807 | 408,214 | 403,908 |
| 流動負債 | 304,303 | 354,035 | 356,453 | 378,369 | 365,418 |
| 負債の部合計 | 692,451 | 749,437 | 762,260 | 786,583 | 769,327 |
| 基本金 | 8,369,679 | 8,434,178 | 8,461,781 | 8,489,795 | 8,562,956 |
| 繰越収支差額 | △3,023,446 | △3,247,175 | △3,465,968 | △3,548,669 | △3,743,444 |
| 純資産の部合計 | 5,346,232 | 5,187,002 | 4,995,812 | 4,941,126 | 4,819,512 |
| 負債及び純資産の部合計 | 6,038,683 | 5,936,440 | 5,758,072 | 5,727,710 | 5,588,839 |

※千円未満を切り捨てて表示しているため合計が一致しない場合がある。

②財務比率の経年比較

| | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運用資産余裕比率 | 93.5% | 93.3% | 94.3% | 92.2% | 92.3% |
| 流動比率 | 526.1% | 444.3% | 484.0% | 500.8% | 514.2% |
| 総負債比率 | 11.5% | 12.6% | 13.2% | 13.7% | 13.8% |
| 前受金保有率 | 579.8% | 535.1% | 525.2% | 637.7% | 675.5% |
| 基本金比率 | 97.7% | 97.9% | 97.9% | 98.1% | 98.3% |
| 積立率 | 41.5% | 39.9% | 37.7% | 37.2% | 35.7% |

（２）資金収支計算書関係

①資金収支計算書の状況と経年比較

（千円）

| 収入の部 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 972,064 | 994,905 | 1,032,100 | 1,103,752 | 1,073,643 |
| 手数料収入 | 16,392 | 17,683 | 19,700 | 17,884 | 17,221 |
| 寄付金収入 | 52,334 | 38,502 | 33,956 | 40,208 | 38,747 |
| 補助金収入 | 410,144 | 416,231 | 416,030 | 431,222 | 445,571 |
| 資産売却収入 | 60,029 | 20,175 | 203,279 | 79,513 | 40,585 |
| 付随事業・収益事業収入 | 96,018 | 95,041 | 81,116 | 74,533 | 54,849 |
| 受取利息・配当金収入 | 7,555 | 5,904 | 3,424 | 928 | 771 |
| 雑収入 | 81,636 | 54,728 | 30,383 | 82,499 | 47,899 |
| 借入金等収入 | 0 | 10,000 | 0 | 0 | 0 |
| 前受金収入 | 206,433 | 219,861 | 257,104 | 228,843 | 218,434 |
| その他の収入 | 99,376 | 82,750 | 69,065 | 61,402 | 108,607 |
| 資金収入調整勘定 | △260,068 | △265,887 | △258,354 | △357,137 | △295,476 |
| 前年度繰越支払資金 | 1,281,322 | 1,196,909 | 1,176,504 | 1,350,359 | 1,459,435 |
| 収入の部合計 | 3,023,240 | 2,886,804 | 3,064,312 | 3,114,011 | 3,210,289 |

（千円）

| 支出の部 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費支出 | 1,116,018 | 1,120,254 | 1,090,740 | 1,128,290 | 1,084,076 |
| 教育研究費支出 | 372,662 | 321,514 | 324,053 | 347,555 | 387,344 |
| 管理経費支出 | 176,025 | 162,466 | 148,829 | 146,924 | 150,441 |
| 借入金等利息支出 | 2,281 | 2,522 | 2,165 | 1,998 | 1,828 |
| 借入金等返済支出 | 14,346 | 16,148 | 13,492 | 12,629 | 12,799 |
| 施設関係支出 | 70,510 | 47,834 | 19,250 | 10,866 | 32,774 |
| 設備関係支出 | 44,048 | 42,664 | 50,997 | 34,074 | 45,834 |
| 資産運用支出 | 146 | 27,464 | 37,464 | 7,476 | 9,851 |
| その他の支出 | 92,543 | 63,205 | 95,096 | 59,035 | 102,602 |
| 資金支出調整勘定 | △62,251 | △93,772 | △68,136 | △94,275 | △92,763 |
| 翌年度繰越支払資金 | 1,196,909 | 1,176,504 | 1,350,359 | 1,459,435 | 1,475,502 |
| 支出の部合計 | 3,023,240 | 2,886,804 | 3,064,312 | 3,114,011 | 3,210,289 |

※千円未満を切り捨てて表示しているため合計が一致しない場合がある。

②活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

（千円）

| 科目 | | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動による資金収支 | | | | | | |
| | 教育活動資金収入計 | 1,620,818 | 1,607,660 | 1,606,403 | 1,736,907 | 1,648,979 |
| | 教育活動資金支出計 | 1,664,700 | 1,604,197 | 1,563,619 | 1,622,647 | 1,621,554 |
| | 差引 | △43,882 | 3,463 | 42,783 | 114,260 | 27,424 |
| | 調整勘定等 | △5,663 | 53,970 | 25,229 | △54,197 | 25,609 |
| | 教育活動資金収支差額 | △49,545 | 57,433 | 68,013 | 60,063 | 53,034 |
| 施設整備等活動による資金収支 | | | | | | |
| | 施設整備等活動資金収入計 | 7,804 | 7,664 | 8,165 | 13,188 | 29,268 |
| | 施設整備等活動資金支出計 | 114,559 | 90,499 | 70,248 | 44.942 | 78,609 |
| | 差引 | △106,755 | △82,835 | △62,082 | △31,753 | △49,340 |
| | 調整勘定等 | 14,814 | 1,557 | 7,416 | 32 | △5,265 |
| | 施設整備等活動資金収支差額 | △91,941 | △81,277 | △54,666 | △31,721 | △54,605 |
| 小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額) | | △141,486 | △23,844 | 13,347 | 28,341 | △1,571 |
| その他の活動による資金収支 | | | | | | |
| | その他の活動資金収入計 | 74,260 | 52,514 | 215,328 | 103,898 | 49,655 |
| | その他の活動資金支出計 | 17,187 | 49,074 | 54,820 | 23,164 | 32,017 |
| | 差引 | 57,073 | 3,439 | 160,508 | 80,733 | 17,638 |
| | 調整勘定等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他の活動資金収支差額 | 57,073 | 3,439 | 160,508 | 80,733 | 17,638 |
| 支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額) | | △84,413 | △20,404 | 173,855 | 109,075 | 16,066 |
| 前年度繰越支払資金 | | 1,281,322 | 1,196,909 | 1,176,504 | 1,350,359 | 1,459,435 |
| 翌年度繰越支払資金 | | 1,196,909 | 1,176,504 | 1,350,359 | 1,459,435 | 1,475,502 |

※千円未満を切り捨てて表示しているため合計が一致しない場合がある。

③財務比率の経年比較

| | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動資金収支差額比率 | -3.1% | 3.6% | 4.2% | 3.5% | 3.2% |

（３）事業活動収支計算書関係

①事業活動収支計算書の状況と経年比較

（千円）

| 科目 | | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | | | | | |
| | 学生生徒等納付金 | 972,064 | 994,905 | 1,032,100 | 1,103,752 | 1,073,643 |
| | 手数料 | 16,392 | 17,683 | 19,700 | 17,884 | 17,221 |
| | 寄付金 | 50,574 | 37,402 | 28,064 | 29,397 | 29,998 |
| | 経常費等補助金 | 404,132 | 409,946 | 415,245 | 429,535 | 425,571 |
| | 付随事業収入 | 96,018 | 95,041 | 81,116 | 74,533 | 54,849 |
| | 雑収入 | 81,636 | 52,781 | 30,383 | 82,495 | 47,829 |
| | 教育活動収入計 | 1,620,818 | 1,607,760 | 1,606,611 | 1,737,599 | 1,649,114 |
| | 事業活動支出の部 | | | | | |
| | 人件費 | 1,121,074 | 1,131,401 | 1,105,512 | 1,142,486 | 1,097,896 |
| | 教育研究経費 | 484,011 | 437,837 | 441,536 | 463,183 | 501,601 |
| | 管理経費 | 222,025 | 209,950 | 202,837 | 193,818 | 189,106 |
| | 徴収不能額等 | 2,192 | 721 | 545 | 10 | 30 |
| | 教育活動支出計 | 1,829,303 | 1,779,910 | 1,750,431 | 1,799,498 | 1,788,635 |
| | 教育活動収支差額 | △208,485 | △172,149 | △143,819 | △61,899 | △139,520 |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | | | | | |
| | 受取利息・配当金 | 7,555 | 5,904 | 3,424 | 928 | 771 |
| | その他の収入 | 0 | 0 | 0 | 4 | 6 |
| | 教育活動外収入計 | 7,555 | 5,904 | 3,424 | 932 | 778 |
| | 事業活動支出の部 | | | | | |
| | 借入金等利息 | 2,281 | 2,522 | 2,165 | 1,998 | 1,828 |
| | その他の支出 | 6 | 7 | 3 | 0 | 0 |
| | 教育活動外支出計 | 2,287 | 2,529 | 2,169 | 1,998 | 1,828 |
| | 教育活動外収支差額 | 5,267 | 3,375 | 1,254 | △1,065 | △1,049 |
| 経常収支差額 | | △203,217 | △168,774 | △142,565 | △62,965 | △140,570 |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | | | | | |
| | 資産売却差額 | 32 | 179 | 1,199 | 1,348 | 384 |
| | その他の特別収入 | 9,253 | 10,902 | 7,733 | 14,227 | 33,000 |
| | 特別収入計 | 9,286 | 11,081 | 8,933 | 15,576 | 33,385 |
| | 事業活動支出の部 | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 資産処分差額 | 2,014 | 1,505 | 57,558 | 4,898 | 14,123 |
| | その他の特別支出 | 0 | 30 | 0 | 2,397 | 306 |
| | 特別支出計 | 2,014 | 1,536 | 57,558 | 7,296 | 14,429 |
| | 特別収支差額 | 7,271 | 9,545 | △48,625 | 8,279 | 18,956 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | △195,945 | △159,229 | △191,190 | △54,685 | △121,614 |
| 基本金組入額合計 | | △106,824 | △64,499 | △27,602 | △28,014 | △73,161 |
| 当年度収支差額 | | △302,770 | △223,728 | △218,793 | △82,700 | △194,775 |
| 前年度繰越収支差額 | | △2,720,676 | △3,023,446 | △3,247,175 | △3,465,968 | △3,548,669 |
| 基本金取崩額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | | △3,023,446 | △3,247,175 | △3,465,968 | △3,548,669 | △3,743,444 |

（参考）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動収入計 | 1,637,659 | 1,624,746 | 1,618,968 | 1,754,108 | 1,683,279 |
| 事業活動支出計 | 1,833,605 | 1,783,975 | 1,810,159 | 1,808,793 | 1,804,893 |

※千円未満を切り捨てて表示しているため合計が一致しない場合がある。

②財務比率の経年比較

| | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人件費比率 | 68.8% | 70.1% | 68.7% | 65.7% | 66.5% |
| 人件費依存率 | 115.3% | 113.7% | 107.1% | 103.5% | 102.3% |
| 教育研究経費比率 | 29.7% | 27.6% | 27.4% | 26.6% | 30.4% |
| 管理経費比率 | 13.6% | 13.0% | 12.6% | 11.1% | 11.5% |
| 借入金等利息比率 | 0.1% | 0.2% | 0.1% | 0.1% | 0.1% |
| 事業活動収支差額比率 | -12.0% | -9.8% | -11.8% | -3.1% | -7.2% |
| 基本金組入後収支比率 | 119.8% | 114.3% | 113.7% | 104.8% | 112.1% |
| 学生生徒等納付金比率 | 59.7% | 61.7% | 64.1% | 63.5% | 65.1% |
| 寄付金比率 | 3.3% | 2.5% | 2.2% | 2.4% | 2.6% |
| 経常寄付金比率 | 3.1% | 2.3% | 1.7% | 1.7% | 1.8% |
| 補助金比率 | 25.0% | 25.6% | 25.7% | 24.6% | 26.5% |
| 経常補助金比率 | 24.8% | 25.4% | 25.8% | 24.7% | 25.8% |
| 基本金組入率 | 6.5% | 4.0% | 1.7% | 1.6% | 4.3% |
| 減価償却額比率 | 8.6% | 9.2% | 9.8% | 9.0% | 8.6% |
| 経常収支差額比率 | -12.5% | -10.5% | -8.9% | -3.6% | -8.5% |
| 教育活動収支差額比率 | -12.9% | -10.7% | -9.0% | -3.6% | -8.5% |

## 2. その他

（１）有価証券の状況

（円）

| 種　　類 | 貸借対照表計上額 | 時　　価 | 差　　額 |
|---|---|---|---|
| 債券 | 56,815,800 | 56,509,960 | △305,840 |
| 株式 | 2,380,000 | 1,391,000 | △989,000 |
| その他 | 335,435,208 | 335,435,208 | 0 |
| 合　　計 | 394,631,008 | 393,336,168 | △1,294,840 |
| 時価のない債券 | 185,207 | | |
| 有価証券合計 | 394,816,215 | | |

（２）借入金の状況

（円）

| 借入先 | 期末残高 | 利　　率 | 返済期限等 |
|---|---|---|---|
| 大光銀行 | 124,834,166 | 1.00～1.40% | 2034 年 3 月 |
| 借入金合計 | 124,834,166 | | |

（３）学校債の状況

該当なし

（４）寄付金の状況

（円）

| | 金　　額 | 寄付者・内容 |
|---|---|---|
| 一般寄付金 | 13,475,206 | 個人、企業・団体等 |
| 特別寄付金 | 16,387,965 | 個人、企業・団体等 |
| 施設設備寄付金 | 8,883,980 | 企業・団体等 |
| 現物寄付金 | 4,189,061 | 個人、科研費取得図書・物品 |
| 寄付金合計 | 42,936,212 | |

（５）補助金の状況

（円）

| | 内容等 | 金　　額 |
|---|---|---|
| 国庫補助金 | 私立大学等経常費補助金 | 109,188,000 |
| | 授業料等減免費交付金 | 49,145,700 |
| | 厚生労働省両立支援等助成金（新型コロナ感染症小学校休業等対応） | 185,973 |
| | 学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策・抗原検査キット） | 125,000 |
| | 私立学校施設整備費補助金（視覚障害者誘導用ブロック敷設工事等） | 6,380,000 |
| 合　　計 | | 165,024,673 |
| 地方公共団体補助金 | 新発田市包括連携協定推進事業補助金 | 12,000,000 |
| | 聖籠町阿賀北ノベルジャム補助金 | 250,000 |
| | 佐渡市文化・スポーツ合宿誘致補助金 | 152,000 |
| | 新潟県結核予防費補助金 | 52,800 |
| | 新潟県私立学校振興補助金 | 248,109,000 |
| | 新潟県私立高等学校等学費軽減事業補助金（東日本大震災対応分を含む） | 4,257,100 |
| | 新潟県私立高等学校等学び直し支援補助金 | 376,200 |
| | 新潟県私立高校特色教育チャレンジ支援事業 | 1,443,000 |
| | 新潟県高等学校就学支援事務費補助 | 257,000 |
| | 新潟市結核予防費補助金 | 30,000 |
| | 新潟県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金（寮エアコン設置） | 13,620,000 |
| 合　　計 | | 280,547,100 |
| 補助金合計 | | 445,571,773 |

（６）収益事業の状況

収益事業は行っていない。

（７）関連当事者との取引の状況

（円）

| 属性 | 役員・法人等の名称 | 住所 | 資本金又は出資金 | 事業の内容又は職業 | 関係内容 | | 取引内容 | 取引金額 | 勘定科目 | 期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 役員の兼任等 | 事業の上の関係 | | | | |
| 役員が支配している会社 | 新発田建設（株）（注１） | 新発田市 | 80,000,000 | 建設業 | ― | 校舎の建築及び施設修繕 | 校舎建築及び施設修繕費用の支払（注２） | 57,493,100 | 未払金 | 0 |

（注１）監事の渡辺明紀が同社の代表取締役社長である。また議決権の過半数を直接保有している。

（注２）施設修繕費用については、新発田建設株式会社以外からも複数の見積りを入手し、見積り競争の上、発注先・発注金額を決定している。

（８）学校法人間財務取引

該当なし

（９）経営の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

①経営の分析について

・法人全体の基本金組入前当年度収支差額は１億2161万円の支出超過となりました。昨年決算に比べて支出超過額は6692万円増額し、再び１億円を超える赤字です。

・主な要因として、高校の学生募集の苦戦による収入減少と、大学の中期計画に基づく施設設備整備などの大型工事による支出増加が挙げられます。

・上記のような結果ですが、日本私立学校振興・共済事業団が作成している「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」によると、本学園の経営状態の評価は、Ａ１からＤ３の１４区分のうちＢ０（イエローゾーンの予備的段階）となりました。

②経営上の成果と課題

・当初予算に比べると決算収支は改善し、支出超過額は約２千万円減額しました。

・コロナ禍で計画どおりの予算執行は難しい状況にありましたが、教育事業や学校運営に必要な支出について適切に対応しました。

・本年度大学基準協会の認証評価を受審し、財務の改善課題として、「事業活動収支差額比率」がマイナスであること、「要積立額に対する金融資産の充足率」が低く減少傾向にあることなどが挙げられ、十分な財政基盤を有しているとはいえないとの指摘を受けました。

③今後の方針・対応方策

・大学は 2021 年度から中長期計画（ロードマップ）を改定し、高校は 2022 年度からスタートする中期計画を策定しました。いずれも財務面を含む中期計画です。大学基準協会の指摘を踏まえ、財務目標値を意識した予算執行を行い、着実に計画を実行することで財務基盤を確立していきます。
・また、学生・生徒の定員充足による学生生徒等納付金収入の安定的確保に努めるとともに、老朽化施設設備の計画的な改修・整備の実施、人件費等の固定費の見直しを検討し、収支改善による財政健全化を目指します。

# 2017-2021 年度決算 事業活動収支計算書関係比率

《法人全体》

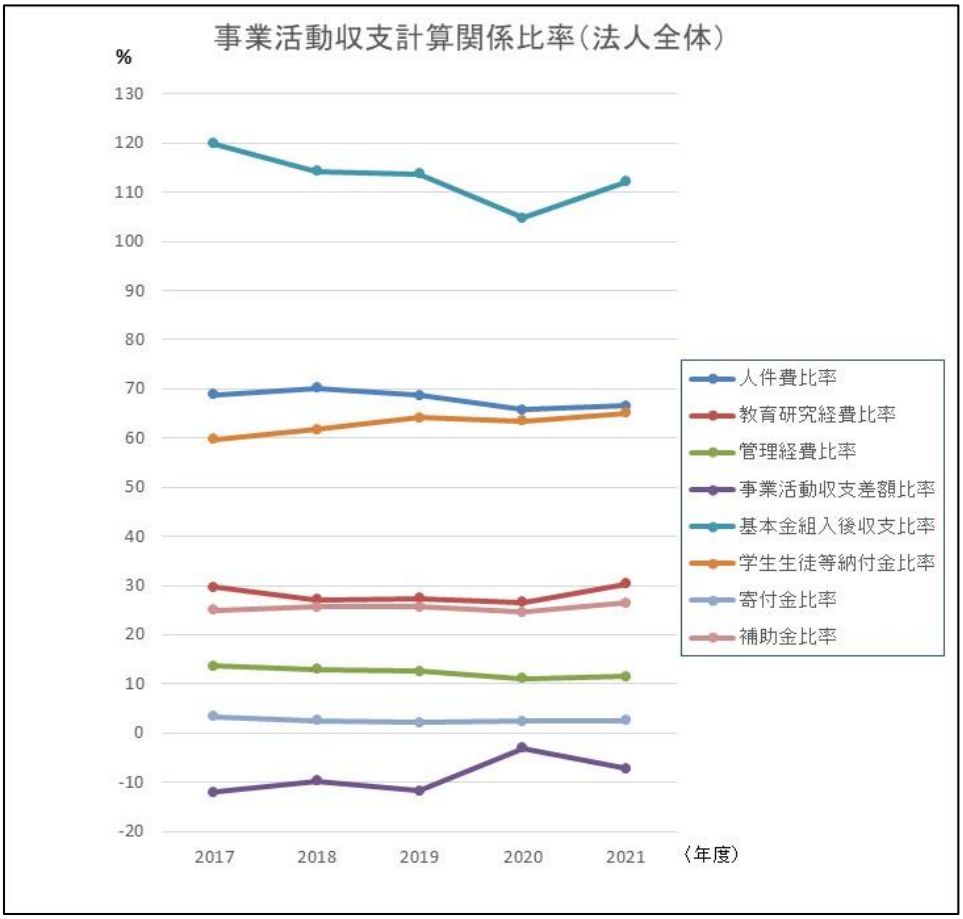
| 比率名・算出方法 | | 法人全体 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
| 1 人件費比率 ▼ | 人件費 / 経常収入 | 68.8 % | 70.1 % | 68.7 % | 65.7 % | 66.5 % |
| 2 人件費依存率 ▼ | 人件費 / 学生生徒等納付金 | 115.3 % | 113.7 % | 107.1 % | 103.5 % | 102.3 % |
| 3 教育研究経費比率 △ | 教育研究経費 / 経常収入 | 29.7 % | 27.1 % | 27.4 % | 26.6 % | 30.4 % |
| 4 管理経費比率 ▼ | 管理経費 / 経常収入 | 13.6 % | 13.0 % | 12.6 % | 11.1 % | 11.5 % |
| 5 借入金等利息比率 ▼ | 借入金等利息 / 経常収入 | 0.1 % | 0.2 % | 0.1 % | 0.1 % | 0.1 % |
| 6 事業活動収支差額比率 △ | 基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入 | -12.0 % | -9.8 % | -11.8 % | -3.1 % | -7.2 % |
| 7 基本金組入後収支比率 ▼ | 事業活動支出 / 事業活動収入－基本金組入額 | 119.8 % | 114.3 % | 113.7 % | 104.8 % | 112.1 % |
| 8 学生生徒等納付金比率 ～ | 学生生徒等納付金 / 経常収入 | 59.7 % | 61.7 % | 64.1 % | 63.5 % | 65.1 % |
| 9 寄付金比率 △ | 寄付金 / 事業活動収入 | 3.3 % | 2.5 % | 2.2 % | 2.4 % | 2.6 % |
| 9 経常寄付金比率 △ | 教育活動収支の寄付金 / 経常収入 | 3.1 % | 2.3 % | 1.7 % | 1.7 % | 1.8 % |
| 10 補助金比率 △ | 補助金 / 事業活動収入 | 25.0 % | 25.6 % | 25.7 % | 24.6 % | 26.5 % |
| 10 経常補助金比率 △ | 教育活動収支の補助金 / 経常収入 | 24.8 % | 25.4 % | 25.8 % | 24.7 % | 25.8 % |
| 11 基本金組入率 △ | 基本金組入額 / 事業活動収入 | 6.5 % | 4.0 % | 1.7 % | 1.6 % | 4.3 % |
| 12 減価償却額比率 ～ | 減価償却額 / 経常支出 | 8.6 % | 9.2 % | 9.8 % | 9.0 % | 8.6 % |
| 13 経常収支差額比率 △ | 経常収支差額 / 経常収入 | -12.5 % | -10.5 % | -8.9 % | -3.6 % | -8.5 % |
| 14 教育活動収支差額比率 △ | 教育活動収支差額 / 教育活動収入計 | -12.9 % | -10.7 % | -9.0 % | -3.6 % | -8.5 % |

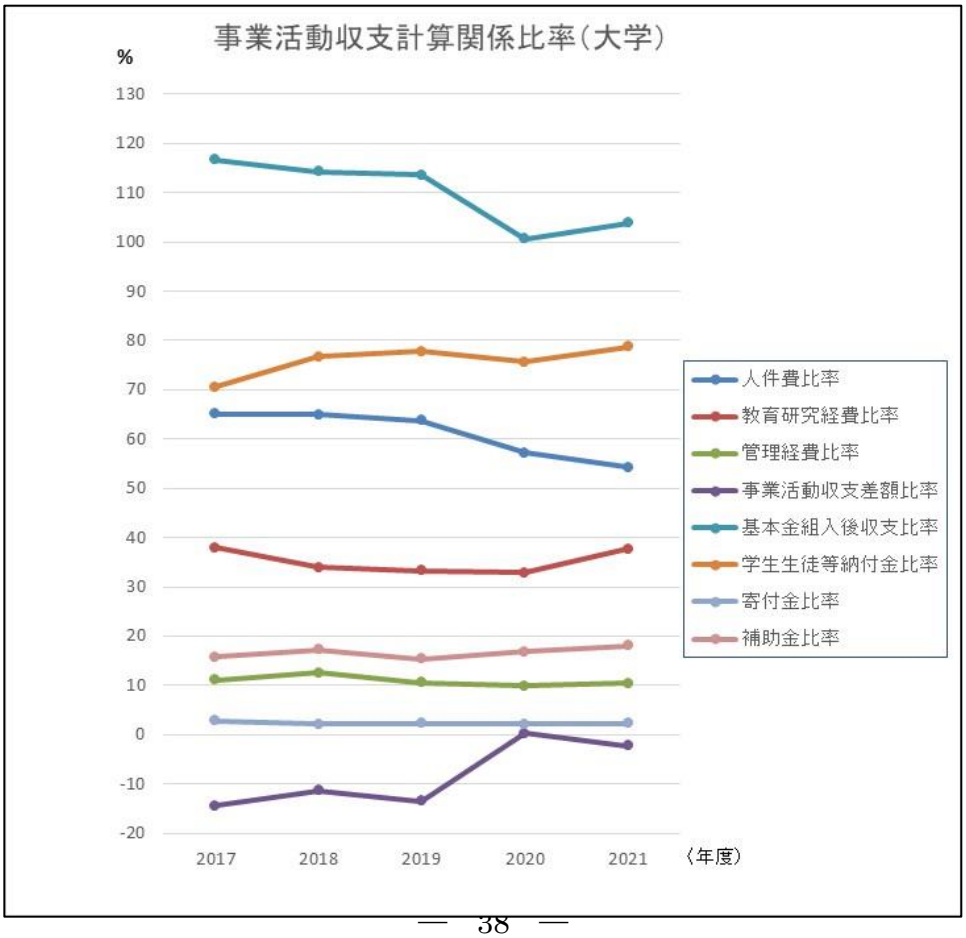
※比率の高低の評価は次のとおり。　△　高い値が良い　▼　低い値が良い　～　どちらとも言えない

《大学部門》

| 比率名・算出方法 | | 大学 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 人件費比率 ▼ | 人件費 / 経常収入 | 65.1 % | 64.9 % | 63.8 % | 57.2 % | 54.2 % |
| 2 人件費依存率 ▼ | 人件費 / 学生生徒等納付金 | 92.2 % | 84.6 % | 82.1 % | 75.8 % | 68.9 % |
| 3 教育研究経費比率 △ | 教育研究経費 / 経常収入 | 38.0 % | 34.0 % | 33.3 % | 32.9 % | 37.7 % |
| 4 管理経費比率 ▼ | 管理経費 / 経常収入 | 11.1 % | 12.6 % | 10.5 % | 9.9 % | 10.4 % |
| 5 借入金等利息比率 ▼ | 借入金等利息 / 経常収入 | 0.0 % | 0.0 % | 0.0 % | 0.0 % | 0.0 % |
| 6 事業活動収支差額比率 △ | 基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入 | -14.4 % | -11.3 % | -13.5 % | 0.3 % | -2.3 % |
| 7 基本金組入後収支比率 ▼ | 事業活動支出 / 事業活動収入－基本金組入額 | 116.6 % | 114.2 % | 113.6 % | 100.6 % | 103.8 % |
| 8 学生生徒等納付金比率 ～ | 学生生徒等納付金 / 経常収入 | 70.6 % | 76.7 % | 77.7 % | 75.6 % | 78.7 % |
| 9 寄付金比率 △ | 寄付金 / 事業活動収入 | 2.8 % | 2.2 % | 2.3 % | 2.1 % | 2.3 % |
| 9 経常寄付金比率 △ | 教育活動収支の寄付金 / 経常収入 | 2.8 % | 2.1 % | 1.7 % | 1.3 % | 1.6 % |
| 10 補助金比率 △ | 補助金 / 事業活動収入 | 15.8 % | 17.2 % | 15.4 % | 16.9 % | 18.1 % |
| 10 経常補助金比率 △ | 教育活動収支の補助金 / 経常収入 | 15.8 % | 17.3 % | 15.5 % | 17.1 % | 17.7 % |
| 11 基本金組入率 △ | 基本金組入額 / 事業活動収入 | 1.8 % | 2.5 % | 0.1 % | 0.8 % | 1.5 % |
| 12 減価償却額比率 ～ | 減価償却額 / 経常支出 | 5.8 % | 6.6 % | 6.8 % | 6.5 % | 6.5 % |
| 13 経常収支差額比率 △ | 経常収支差額 / 経常収入 | -14.3 % | -11.5 % | -7.6 % | 0.0 % | -2.3 % |
| 14 教育活動収支差額比率 △ | 教育活動収支差額 / 教育活動収入計 | -15.2 % | -12.2 % | -7.9 % | 0.0 % | -2.4 % |

※比率の高低の評価は次のとおり。　△　高い値が良い　▼　低い値が良い　～　どちらとも言えない


事業活動収支計算関係比率（法人全体）
%
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
-10
-20
2017
2018
2019
2020
2021
（年度）
人件費比率
教育研究経費比率
管理経費比率
事業活動収支差額比率
基本金組入後収支比率
学生生徒等納付金比率
寄付金比率
補助金比率


事業活動収支計算関係比率（大学）
%
130
120
110
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
-10
-20
2017
2018
2019
2020
2021
（年度）
人件費比率
教育研究経費比率
管理経費比率
事業活動収支差額比率
基本金組入後収支比率
学生生徒等納付金比率
寄付金比率
補助金比率

| | |
|---|---|
| 人件費比率 | ▼低い値がよい |
| 教育研究経費比率 | △高い値がよい |
| 管理経費比率 | ▼低い値がよい |
| 事業活動収支差額比率 | △高い値がよい |
| 基本金組入後収支比率 | ▼低い値がよい |
| 学生生徒等納付金比率 | ～どちらとも言えない |
| 寄付金比率 | △高い値がよい |
| 補助金比率 | △高い値がよい |

**学校法人敬和学園**

**2021年度事業報告書**

2022年5月24日発行

学校法人　敬和学園

〒957-8585　新潟県新発田市富塚字三賀境1270番地

電話　0254-26-3636　　FAX　0254-26-3646